

畜産科学課程

問題

下記の図表を見て，以下の設問に答えなさい。

- 1) 表1，2，及び図1をもとに，北海道における野生鳥獣によって農林水産業に生じている被害の特徴を，分かりやすく350文字以内でまとめなさい。
- 2) 図2から読みとることが出来る，シカの捕獲によって被害を減らすための効果的な方策について，150文字以内で説明しなさい。
- 3) あなたは，野生鳥獣が原因で生じている農林業の被害への対策として，どのような方策を取るのが望ましいと考えますか。あなたの考えを，その理由とともに500文字以内で述べなさい。

表1. 北海道における野生鳥獣被害調査の結果の産業別による被害金額の推移(単位:百万円)

(北海道 HP <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/26higai.pdf> より引用(2016年9月27日閲覧))

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
農業	3,310	3,497	3,732	4,593	5,693	6,648	7,025	6,717	5,999	5,140
林業	24	34	22	26	28	23	176	249	155	103
水産業	25	28	30	36	28	35	21	21	31	42
合計	3,359	3,559	3,784	4,675	5,749	6,706	7,222	6,987	6,185	5,285

表2. 北海道における平成26年度の野生鳥獣被害の鳥獣別による被害金額(単位:百万円)

(北海道 HP <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/26higai.pdf> より引用(2016年9月27日閲覧))

種類	農業	林業	水産業	合計	主な被害対象	
鳥類	カラス類	240		3	243	ロールバックサイレージ等、牛、牧草、スイートコーン、根菜類、デントコーン
	アオサギ	1			1	果樹、水稲、ヤマベ、ニジマス
	キジバト	12			12	小豆、水稲、大豆、デントコーン、スイートコーン、豆類
	カモメ類	19		10	29	ロールバックサイレージ等、昆布、ウニ
	ドバト	17			17	大豆、豆類、根菜類、小麦、水稲
	スズメ	4			4	水稲、果樹、いちご
	カモ類	2			2	水稲
	ハクチョウ類	2			2	小麦
	ガン類	6			6	牧草、小麦
	タンチョウ	1			1	デントコーン、牧草、飼料・配合飼料
	ムクドリ	2			2	果樹
	ヒヨドリ	1			1	いちご
	サギ類	1		27	28	サケ・マス、ヤマベ、水稲
	その他鳥類	3			3	
	鳥類計	311		40	351	
獣類	ニホンジカ	4,510	103		4,613	牧草、ビート、水稲、ばれいしょ、デントコーン、根菜類、小麦
	ヒグマ	128			128	デントコーン、スイートコーン、ビート、小麦、根菜類
	キツネ	94			94	牛、スイートコーン、ばれいしょ、ビート、根菜類、葉茎菜類
	アライグマ	70			70	スイートコーン、いちご、メロン、果菜類、果樹、スイカ
	ユキウサギ	13			13	ビート、大豆、根菜類、ばれいしょ
	タヌキ	7			7	果樹、スイートコーン、果菜類、いちご
	ミンク			1	1	ニジマス、ヤマベ
	その他獣類	7		1	8	
	獣類計	4,829	103	2	4,934	
	合計	5,140	103	42	5,285	

海獣類による被害を除く。

十万の単位で四捨五入しているため、農業・林業・水産業の各被害額と合計額が一致しない場合がある。

ここではニホンジカとエゾシカは同種として扱っている。

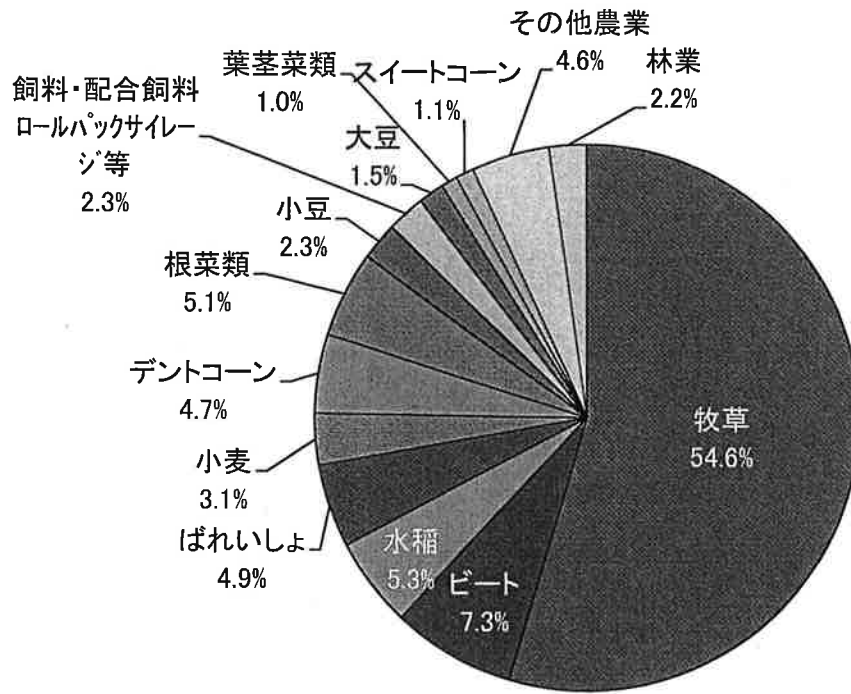


図 1. ニホンジカ(エゾシカ)による平成 26 年度の作物別被害額の割合
 (北海道 HP <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/26higai.pdf> より引用(2016 年 9 月 27 日閲覧))

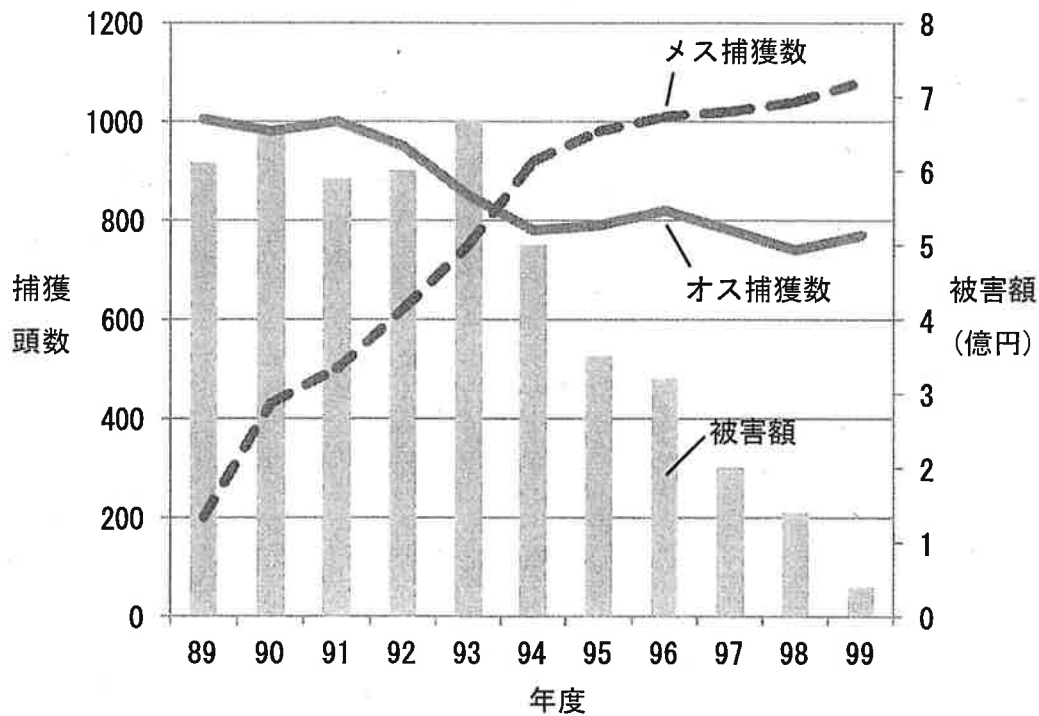


図 2. 北海道外のある地域におけるニホンジカの捕獲頭数とその被害額の推移
 (ある地域のデータを参考に模擬的に作成したもの)